

553.673: 550.8 (521.75)

兵庫県養父郡高柳村滑石鉱床調査報告

昭和二十四年八月十二日から十六日まで、標記の滑石鉱床の調査に従事した。その結果は次の如くである。

1. 位置交通

山陰線八鹿駅南方約4kmに位置し、八鹿町一広谷間は県道を通じ、トラックの通行が可能である。

八鹿町一朝倉間はやゝ道路せまく、トラックの通行は困難である。

朝倉第一採掘場間は馬車運搬可能である。第二採掘場は道路が不充分であつて、馬車の通行は出来ない。

2. 地形、地質

やゝ急峻な地形を示す。地質は蛇紋岩及び珪岩より成っている。

蛇紋岩は珪岩を貫く大きな岩体として露出する。

珪岩は、淡褐色、緻密塊状で、層理は明瞭でない。

隠微晶質でチャート質な部分が多い。

この蛇紋岩の原岩は明瞭でないが、多量の角閃石が認められる。

時に硬蛇紋石、陽起石、滑石、方解石等の細脈によつて貫かれることが多い。蛇紋岩は時にロジン岩によつて貫かれる。

3. 鉱床

蛇紋岩脈は殆んど、蛇紋岩化作用も蒙らず角閃石の残晶が相当に認められる。殆んど、滑石脈は発見せられない。

蛇紋岩岩脈は蛇紋岩化作用を顯著に蒙り且つ滑石脈に貫かれ、全体としても、滑石化を受けている。このうち滑石化が顯著で且つ鉄分の少い部分のみが鉱床として稼行せられる。なお現在の採掘場以外にも将来の探鉱により良品質の部が発見せられる可能性は多い。

第一採掘場

滑石鉱床として稼行可能な部分の巾は約4mである。この富鉱体は略々N20°Wの方向に連続する。現在推定される連続は約4mである。

第二採掘場

第一採掘場の南方約2,500mに位置する。

現在露頭あけを行つた程度である。鉱床は蛇紋岩中に貫入したロジン岩の周辺部に沿つて滑石脈の胚胎が見られる。滑石の品質は良好であるが、量少く、且つ方解石脈に屢々貫かれるため、これとの分離が困難である。

4. 品質

第一採掘場

全体としては、鉄分4%前後と推定される。局部的には良品質の部が見られるがその量は極めて少い。

第二採掘場

鉄分は殆んど3%以下と考えられ、不純物少く優良品である。

窯業用原料としても適当であるが前記の如く埋蔵量は少い。

5. 鉱量

第一採掘場 予想鉱量 4,800 t

第二採掘場 予想鉱量 15 t

算定の基礎

第一採掘場は延長40m、巾40m、深さ10mとして算定した。

第二採掘場は直径約5mのロジン岩の周辺部に沿つて約1mの間に10%賦存するものとして算定した比重はいずれも3.0である。

6. 結論

将来の探鉱によつてなお良品質のもの発見は可能である。

(浜野一彦・塚脇祐次)